

公開シンポジウム開催のご案内
グローバル化の時代における法と法学教育
—国際関係法を中心に—

日本学術会議法学委員会「グローバル化と法」分科会では、グローバル化の進行に日本法をどのように適応させるのか、法のグローバル化に直面して日本の立場をどのように発信していくのか、また、とりわけ喫緊の課題となっているこれに対処できる人材をどのように養成するのかを検討してきましたが、このような検討結果を踏まえて、国際関係法教育を基本に据えつつ、広く実務における問題をも視野に入れながら、現状の把握と解決の方向性を探るシンポジウムを開催します。

なお、このシンポジウムは、国際関係法教育検討委員会を設置してグローバル化の時代における国際関係法教育の課題について検討してきた国際法学会との共催で開催するものです。

- ◆日時 2011年2月14日(月) 13:00～17:00
- ◆主催 日本学術会議法学委員会「グローバル化と法」分科会
(国際法学会と共催)
- ◆場所 日本学術会議6階6A(1)(2)会議室
会場リンク <http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>
- ◆その他 事前申し込み不要；入場無料
- ◆プログラム
司 会：松井芳郎(連携会員・立命館大学教授)
13:00-13:05
開会のあいさつ：広渡清吾(第1部部長・専修大学教授)(5分)

第1セッション：国際関係法教育における国際的な経験(13:05-14:05)
13:05-13:25
1 国際法研究・教育におけるグローバリゼーションへの対処
—国際法協会「国際法教育」委員会における経験を手がかりとして—(20分)
報告者：森田章夫(連携会員・法政大学教授)
13:25-13:45
2 大学国際法教育シラバスと教科書の比較検討—日中韓を例に—(20分)

報告者：薬師寺公夫（立命館アジア太平洋大学教授）

13：45－14：05

3 国際関係法学分野における教育・研究の国際協力（20分）

報告者：吾郷真一（第1部会員・九州大学教授）

（5分間の調整時間）

第2セッション：グローバル化時代における国内法教育の課題（14：10－15：10）

14：10－14：30

1 留学生に対する英語による日本法教育―刑事法を中心に―（20分）

報告者：高山佳奈子（連携会員・京都大学教授）

14：30－14：50

2 グローバル私法の勧め（20分）

報告者：櫻田嘉章（第1部会員・甲南大学教授）

14：50－15：10

3 国際関係法の立場から国内法教育に求めるもの（20分）

―国際公秩序とのリンケージを中心に―

報告者：小森光夫（連携会員・千葉大学名誉教授）

休憩（15：10－15：30）（20分）

第3セッション：国際関係法教育における社会連携（15：30－16：10）

15：30－15：50

1 外交実務の立場から国際関係法教育に望むこと（20分）

報告者：三上正裕（外務省国際法局国際法課長）

15：50－16：10

2 弁護士実務におけるグローバル化への対処について（20分）

報告者：片山達（アンダーソン・毛利・友常法律事務所パートナー弁護士）

（5分間の調整時間）

討論（16：15－16：55）（40分）

16：55－17：00

閉会のあいさつ：柳原正治（国際法学会理事長・九州大学教授）（5分）